

森で働く3ステップ

森で働きたい！

森で働いてみたいけど、何をしたらよいかわからない……。そんな人のために、就業に向けた各ステップに合わせたイベントや研修をここで紹介します。さらに、この後のページでは平成28年度に実施された各イベント・研修の様子を紹介しています。気になった項目はチェックしてみてください！

STEP 01 情報収集

STEP 02 林業体験

STEP 03 就業〜森の担い手へ

STEP 02 林業体験

機械化が進んできたとはいえ、林業は体力も必要な仕事。実際の作業現場を見学したり体験することで、自分に合っているのか確かめることができます。実際の山の斜面や生い茂る草木の中で仕事をすると、想像だけで補えないものもあります。就業後のミスマッチを防ぐためにも、一度体験することをお勧めします。

林業就業支援講習

新たに林業への就業を希望する人を対象に、座学と実習で林業を体験する講習です。知識や技術をじっくりと身につける16日間コースと、作業見学と簡単な体験がメインとなる4日間コースがあります。新潟県では例年16日間コースを春に、4日間コースを秋に実施しています。

その中で、平成28年10月に開催された「4日間コース」について本誌6～7ページで紹介しています。

WOOD JOB! 森の仕事体験

高校生や大学生、専門学校生を対象にして林業を体験し知ってもらう研修。一泊二日の合宿形式で、将来の仕事について考える貴重な機会になっています。

その中で、平成28年8月に開催された「WOOD JOB! 森の仕事体験」について本誌8～9ページで紹介しています。

STEP 01 情報収集

「森の中で働いてみたい!!」そう思ったなら、林業について調べてみましょう。書籍やインターネットを利用するのもいいのですが、より詳しく知りたい場合は、林業に関するイベントに参加しましょう。実際に使われる道具・機械を見たり、現場で働く人と直接話したりすることで、森で働くイメージが具体的に広がるはずです。

森林の仕事ガイダンス (全国森林組合連合会 主催)

林業に興味のある方、就業を希望する方を対象とした説明・相談会。例年1～2月に東京、大阪等で開催されています。林業全般や支援制度について相談できるほか、各地域の実情を知ることができる都道府県ブースや、現場で働く緑の研修生に相談できるブースもあり、幅広く情報収集ができます。



林業PRイベント

新潟県の林業をいろいろな人に知ってもらうためのイベントが各地で開催されています。

その中で、平成28年11月に開催された「WOOD JAM」について本誌4ページで紹介しています。

就業相談会

求人のある林業事業体と直接相談することができる相談会。仕事内容や待遇など、事業体ごとに違う具体的な情報を知ることができます。

その中で、平成28年11月に開催された「新規就農・就業チャレンジフェア」について本誌5ページで紹介しています。

「緑の雇用」現場技能者育成研修

森林組合などの認定事業体に採用された新規就業者が、3年間の研修プログラムの中で林業現場に必要な知識・技術・資格を習得します。研修を終えると「フォレストワーカー」として登録され、これから森で働いていくための下地ができあがります。

その中で、平成28年度の現場技能者育成研修の様子について本誌10～11ページで紹介しています。

また、新潟県内の事業体で働く、森の担い手の様子は本誌12～23ページで見ることができます。

森林施業プランナー

持続的な森林経営を推進するため、森林所有者に対して、森林施業の方針や事業収支等を記載した施業提案書を提示してその施業を受託し、その施工管理を行うのが森林施業プランナーです。地域の森林をよく理解し、うまく活用していくための企画力と、それを所有者に伝える提案力が求められます。森林施業プランナーになるためには試験に合格しなくてはなりませんが、その試験合格にも必要なプランナーに求められる能力を身に付けるための研修が毎年開催されています。



STEP 03 就業〜森の担い手へ

事業体に就業することができたら、現場作業において必要な技術の習得・向上を目指していくこととなります。「緑の雇用」などの研修制度を利用しながら、現場技能者として一人前となり、さらなるキャリアアップの道が開けていきます。

森で働く3ステップ STEP 01 情報収集

林業PRイベント

「WOOD JAM」

平成28年11月・新潟市にて開催

林業の魅力をいろんな人に知ってもらおう目的で開催



そもそも「林業って何? どんな仕事なの?」という疑問を持っている方も多はず。新潟県内では、林業という仕事とその意味合いをいろんな人たちに知ってもらおうべく、数々のイベントが開催されています。そのひとつとして、昨年11月に行われた「WOOD JAM」取材しました。

毎年、シーズンに先駆けて県内スキー場の情報が大集合するイベント「SNOW JAM」と同時に行われたこの「WOOD JAM」。会場では、林業の仕事を紹介するパネル展をはじめ、実際に県内の森で働く「フォレストワーカー」3人(ひとりには林業女子)をゲストに迎えたトークセッション、チェーンソーやワークウェア等の展示&試着、県産木材を使用した木工体験、就業ガイダンス

&相談コーナーと、カジュアルかつ盛りだくさんの内容で来場者の関心を集めていました。特に印象的だったのは、実際に働く人たちが大自然の中で働く喜びを口々に語っていたこと。やっぱりそれが大きな魅力のひとつですね!

就業相談会

「新規就農・就業チャレンジフェア」

平成28年11月・新潟市にて開催

農業・林業合同、求人のある事業者と直接相談できるイベント

右記のような林業PRイベントとは別に、新潟県では、「新規就農・就業チャレンジフェア」と題し、農業・林業合同で、県内事業者の担当者と直接会える就業相談会を開催しています。

下の写真は、昨年11月、新潟市で行われたフェアの様態です。冒頭で新潟県林業労働力確保支援センター・福田所長から県内の林業事情等の説明があり、それに続き、10社近く集まった事業者の担当者が、それぞれ壇上で「やる気のある人材を求む」という趣旨の自社PRを展開しました。会場で配布された資料には仕事内容や待遇など事業者ごとの情報が具体的に記載。さらに、参加者が各事業者と個別に話せる相談会も開催という、まさに生の情報を得られる貴重な機会でした。





熊倉裕也さん
「林業をやっている人は、山に対して熱意がある。僕も将来的に村で森林技術員として暮らしたいので、この経験を仕事に活かしたいです。」



増子良平さん
「思っていた以上に自然の中で仕事をするのは危険なのだ実感。しっかり学んで、的確な現場判断ができる森林技術員になりたいです。」

平成28年度林業就業支援講習 (4日間コース)カリキュラム

日程	時間	講習科目	主な講習内容
10月16日 (日)	9:00~12:00	林業の基礎知識	オリエンテーション(日程説明・自己紹介) 林業の魅力と現状(フォレストワーカーの今) 林業の動向・木材供給と林業産業について
	13:00~17:00	安全衛生講習	林業における労働災害の現状と安全衛生対策
10月17日 (月)	9:00~11:00	林業体験	チームワークとコミュニケーションの重要性
	11:00~17:00		鎌及び刈払い機による下刈り作業体験及び見学 ノコギリ・鉋による枝打ち・除伐作業体験
10月18日 (火)	9:00~17:00	林業体験	今回取材した研修カリキュラム ノコギリ・チェーンソーによる丸太切体験及び見学 高性能林業機械による作業の見学 その他各種林内作業の見学
10月19日 (水)	9:00~15:00	林業職場見学	針葉樹合板・バイオマス発電所等見学
	15:00~17:00	就業・生活相談・閉講式	林業への就業相談・生活相談 講習総括・アンケート 修了者証の交付



平成28年10月・五泉市／新潟市にて開催
就業希望者に、座学と実技で林業を体験してもらおう講習

林業就業支援講習「4日間コース」

Forestry Support Service

森で働く3ステップ

STEP 02

林業体験

その①

林業就業支援講習(16日間コース)



新潟県では、16日間コースを春、4日間コースを秋に実施しています。作業見学と簡単な体験がメインとなる4日間コースに対し、16日間コースは、刈払い機やチェーンソーの資格も取得でき、より深い知識や技術を身につけられる内容になっています。

林業現場で行う業務が自分に合っているかどうかは、インターネット等の情報だけでは判断しづらいものです。この「林業就業支援講習」は、林業への就職を希望する人たちに向け、座学と実技で実際に林業を体験してもらおう講習です。新潟県では毎年、4日間コースと16日間コースが行われており、今回は4日間コースを取材してきました。

この日は、カリキュラムの中の「ノコギリ・チェーンソーによる丸太切り」。開始前に1時間ほど座学を行い、丸太を切るための基礎や道具の説明はもちろん、山がいかにか危険な場所であるか、その危険を回避するための退避行動もレクチャー。この実践的な指導こそ実技講習ならではのポイント。

そして、チェーンソーを使って実際に丸太切りを体験。まずベテランがお手本を披露し、続いて参加者が挑戦。真っ直ぐ切り落とすのは難しい中、構え方や木に刃を当てる位置など細かな指示を受けていくうちに、キレイに切れるようになっていきました。やはり体験は、とても重要。林業を目指す人はずいぶん受講してほしい講習だと感じました。



①参加者はいくつかのグループに分かれて行動。現場で活躍する林業の先輩たちが、実際に倒す木の見極め方やノコギリの引き方、倒す方向の決め方などを丁寧に教えてくれます
 ②まっすぐ育った杉や檜の林に隣接。高さ4~5mほどに育った杉の幼木の林で体験ツアーは行われました
 ③当日はとても暑い日だったので、水分補給も大切です



平成28年度 WOOD JOB! 「青少年森の仕事体験ツアー」カリキュラム

日程	時間	講習科目	主な講習内容
1日目	9:50~	開校式	開会の挨拶~オリエンテーション
	10:00~	講義	森林・林業の基礎知識
	10:50~	見学	木工加工施設見学(山北地区)
	12:10~	昼食	交流の館 八幡にて
	13:30~	体験	間伐体験(村上森林組合) 今回取材した研修カリキュラム
	17:30~	先輩体験談	「林業の仕事に就職して」(いわふね森林組合・齋藤さん)
2日目	18:00~	夕食	みどり里交流センターにて~就寝
	7:30~	朝食	みどり里交流センターにて
	9:00~	見学・体験	高性能林業機械作業見学・体験
	11:30~	昼食	みどり里交流センターにて
	12:30~	研修	新潟県森林研究所の概要 研修~農林公社の概要 DVD観賞
	14:00~	就職ガイダンス	就職ガイダンス
	14:50~	閉会式	閉会の挨拶~解散



④実際に林業に携わっている先輩の齋藤さん(いわふね森林組合)。齋藤さんは平成26年のこの研修に参加された ⑤参加者全員で諸先輩方の話を聞く



ほんま まさき
本間真生さん
 「自然が好き」と参加した高校3年生(取材時)。「林業の仕事ってたくさんあって、女性が活躍できる場所もあるんだなと思いました」。



ねだち りゅうと
根立龍斗さん
 「林業体験は2回目」の大学4年生(取材時)。建築にも興味があり、「製材所で木材加工の現場を見ることができて楽しかったです」。

WOOD JOB!
「青少年体験合宿」
森の仕事体験
 平成28年8月・村上市にて開催
 実体験こそ最高の学習現場。学生が森の仕事を体験

Forestry Support Service
森で働く3ステップ
 STEP 02 **林業体験**
 その2

「WOOD JOB! 青少年森の仕事体験ツアー」とは、林業に興味を持つ学生を対象に、一泊二日で山仕事を実際に体験してもらうツアーです。この日、取材で訪れたのは村上市北部。日本海の海岸から2~3キロ山間に入った場所でした。話を聞いたお二人(↑)をはじめ、参加者は、午前中に林業の基礎知識を学び、木工加工施設を見学した後、この「間伐体験」の現場へ。間伐とは、一言で言えば成長の良い木を倒すこと。本来、樹の成長が緩やかになる秋から冬に行うことが多い作業ですが、夏休みの体験合宿ということで今回は特別にやっていたいただきました。「周り比べて極端に細い」とか「曲がっている」などの特長から間伐すべき木を見極めるところから始め、印を付けた木の根元付近へノコギリを入れて、安全に注意しながら人のいない方向へ倒します。また、実際に林業に携わる先輩方から、体験談や、「今から50年先にこの木や林がどうなっているかを考えながら作業している」などの話も聞けたり、みんな有意義な時間を過ごせたようです。



写真左より、「山北地区の木工加工施設を見学」(1日目)、「高性能林業機械での作業を見学&体験」(2日目)、「新潟県森林研究所の概要を研修」(2日目)

津南町森林組合
八重沢 徹さん

[年齢:24歳 林業経験:2カ月目]

自己流を見直す
貴重な経験に感謝



知識はもちろんですが、実際に体験しないと覚えられない仕事だと思うので、ここまでマンツーマンで教えてもらえる機会は本当にありがたいです。林業の仕事に巡りあえてよかったです。空師を目指してがんばります！



いわふね森林組合
佐藤拓郎さん

[年齢:19歳 林業経験:1年目]

安全面に留意する
プロの仕事に驚く



自分は木を伐るだけで精一杯で余裕がなく、こんなに安全面に気をつけて作業することに驚きました。商品として木を丁寧に扱う心構えなど、勉強になることばかりです。忘れないうちにもっと木を伐りたい気持ちです。



林業作業士(フォレストワーカー)
1年目研修カリキュラム例

【安全講習等】

- 普通救命講習
- 刈払機取扱作業
- チェーンソー伐倒等業務
- 玉掛け
- 小型移動式クレーン運転業務
- 走行集材機械運転業務

など

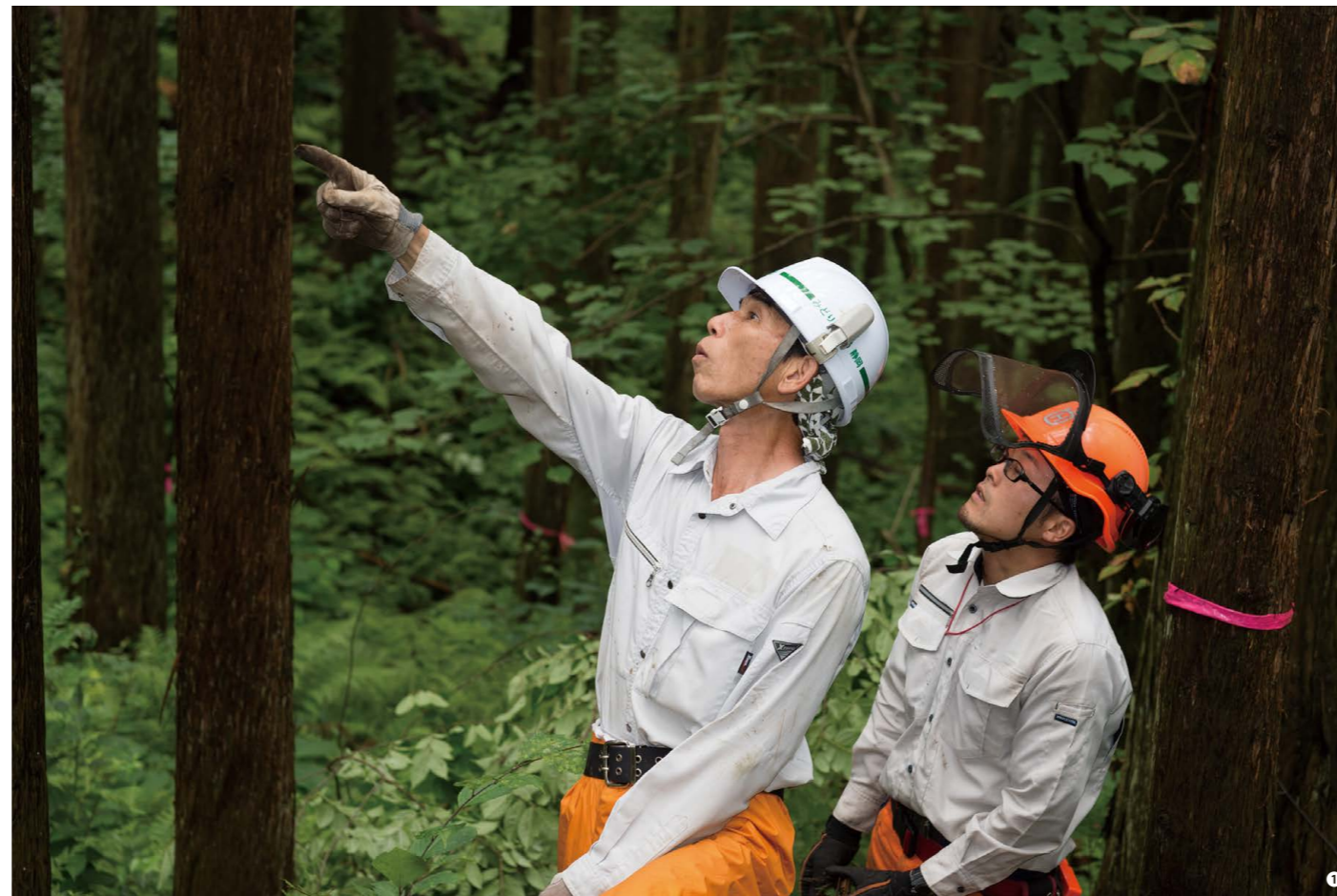
【一般研修】

- 現場作業における安全力
- チェーンソーのメンテナンス
- 鳥獣害対策(わな猟講習)
- 安全な造林作業

今回取材した研修カリキュラム

- チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業
- 安全な伐倒作業

など



①厳しくも細やかな指導で、受講生から絶大な人気を誇る、石垣正喜先生 ②伐倒方向を確実にするため、必ず確認を ③米津要先生のチームの皆さんで記念撮影。石垣先生チームの皆さんは表紙に登場! ④受け口の修正方法を教える、米津先生



「緑の雇用」現場技能者育成研修
「1年目チェーンソー講習」

平成28年7月・柏崎市にて開催

チェーンソーワークの基礎を現場で学ぶ

Forestry Support Service

森で働く3ステップ

STEP 03

就業〜森の担い手へ

「緑の雇用」事業とは、林業事業体に採用された人に対し、同事業体などを通じて講習や研修を行うことでキャリアアップを支援する制度です。林業未経験者でも森林の仕事に就いて、林業で必要な技術を学ぶことができます。

この日、取材したのは林業の基本的な知識・技術などの習得のための研修と実地研修を組み合わせた3年間の研修「林業作業士(フォレストワーカー)研修」の1年目を対象とした「チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業」と「安全な伐倒作業」の講習です。事業体に勤務する、林業1年生14名が参加し、2グループに分かれてチェーンソーの目立てや立木の伐倒を行いました。

「プロの技を十二分に発揮するためには訓練すること。安全面への配慮もとても大事です」と講師の石垣正喜さん。技術はもちろん、プロの仕事の心構えについても、皆さん真剣な表情で聞き入っていました。